

各分科会の紹介

※各分科会では、各教科等の授業実践や提案、研究の成果と課題なども発表します。

■分科会①（9:30～10:50）

	分科会名	分科会等内容
1	特別講演	講師 東京都足立区立弘道第一小学校長 佐々木 浩志 氏 「効果のある学校」としての実践と、管理職として実践を進めるための体制づくりやマネジメントを、どのように進められたかについて御講演いただきます。
2	国語（小）	6年生「読むこと」の教材「海のいのち」において、子供たちが推薦カードにまとめるために、「表情」の言葉に着目し、心情の変化を読んでいった授業実践について紹介します。
3	国語（中高）	中学校2年生「読むこと」の教材「走れメロス」において、「メロスは勇者といえるか」という課題の追求を通じて読みの力を高める授業実践について紹介します。高等学校では「伝統的な言語文化」1年生の教材「淮南子 塞翁馬」において、自分の人生に引きつけて翁の言葉を考えることで読みを深め、古典に親しむ授業実践について紹介します。
4	音楽（中）	2年生の合唱教材「今日は君のBirthday」において、自分たちの合唱を振り返り、音楽を形づくっている要素に着目し、表現の工夫を思考する授業実践について紹介します。
5	図工（小）	3年生の造形遊び「クミクミックス（段ボール作品）」の授業実践を紹介します。児童が未来都市をイメージし「つくり・つくりかえ・つくる」活動を通して課題解決に挑戦します。児童の思いを形にする“魔法の言葉”とは？
6	技術（中）	1年生の「材料と加工に関する技術の評価・活用」において、目的に合った本棚を選択するために、技術の「見方・考え方」を働かせ、他者との対話を通して考えを深めていく授業実践について紹介します。
7	家庭（高）・保体（高）	高等学校保健体育と家庭科には、共通性及び連続性が見られる学習領域・内容があります。カリキュラム・マネジメントの視点から、「共生社会の実現」に向けた授業の効果的実践・展開を目指した教科横断的授業デザインを紹介します。
8	理科（小中） 物理（高）	小学校5年生「物のとけ方」において、水溶液の上部と底部から溶質を取り出してその量を比べ、モデルを使って説明するなど、水溶液を質的・実体的にとらえていく実践を紹介します。 中学校3年生「水溶液とイオン」では、色、伝導性及び水溶性が同質の物質を、水に溶かすと質的に違ってくるのはなぜか、単元を通して見方・考え方を広げながら、電解質と非電解質の質的な違いを実体的にとらえていく実践を紹介します。 高等学校1年生「仕事とエネルギー」では、斜面や滑車等の道具を用いた種々の実験を通して、「仕事の原理」という概念を獲得していく実践を紹介します。
9	外国語活動（小） 英語（高）	小学校6年生の新教材「I like my town」において、自分の町のよさ等を相手意識を持って発表する授業を行いました。目的をもって読んだり書いたりする一部教科の内容も取り入れた授業実践について紹介します。 高等学校2年生の教材「The Origins of Halloween」において、5領域の1つ「話すこと（発表）」の技能育成をねらった授業を展開しました。英語によるプレゼンテーション実施を意識した授業実践について紹介します。
10	情報活用 （算数：小）（社会：中）	小学校算数科の「面積」において、友達と考えを共有・比較検討し、思考を深める学習活動を紹介いたします。また、中学校社会科の「日本の諸地域」において、様々な視点で調査した内容を関連付けて課題解決する学習過程を提案します。
11	特別企画 （教育の情報化）	「ICT環境整備と授業開発部による授業改革」 普通教室に電子黒板機能付きプロジェクタを設置し、日常的なICT活用を推進する中で、授業開発部を中心とした授業改革に向けた実践について紹介していただきます。

■分科会②（11:10～12:30）

	分科会名	分科会等内容
1	特別講演	講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 直山 木綿子 氏 小学校新学習指導要領で導入された中学年の外国語活動及び高学年の外国語科における指導のポイントと、移行期における留意点等について御講演いただきます。
2	道徳（中）	中学校3年において道徳科を要とした総合単元的な道徳学習を計画し、生徒と共に設定した学習テーマから「問い」を導き、思考ツール等を活用して多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めていく実践を紹介します。
3	算数（小） 数学（高）	小学校算数は5年生「面積」、高等学校数学は1年生「整数の性質」において、「問い」と「振り返り」による学びのつながりを意識した単元構成、様々な学習形態を取り入れた協働的に学ぶ授業実践について紹介します。
4	社会（中） 公民（高）	中学校は、地理的分野「日本の諸地域（九州地方）」において、生徒が社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせながら、九州地方の環境を守り続けていくために必要な鍵を主体的に追究していく実践を紹介します。 高等学校公民は「現代社会」の小単元「選挙制度の現状と課題」において、生徒が人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせながら、参議院の選挙区選挙の今後のあるべき姿を対話的に追究していく実践を紹介します。
5	体育（小）	5年生のマット運動で、「体操教室の先生になろう」という単元を貫くテーマを設定しました。5年生がマット運動の面白さに出会い、協働的な学びを通して夢中になって活動し、「体操先生」として4年生に教えた実践を紹介します。
6	産業教育（農業）	1年生の「農業と環境」では、IoT技術（水田センサー）から取得したデータに着目したイネ栽培の振り返りを、2年生の「総合学習」では、野菜栽培の課題解決の手段として現場実習先の農家とテレビ電話を活用した授業実践について紹介します。
7	特別支援教育 （小中高・特別支援学校）	中学部では「非常用持ち出し袋に何を入れるか」について、グループの考えを1つにまとめていく「自立活動」を、高等部では「美術科」で自立活動の視点に立って抹茶碗を製作するにあたりシートを活用し、「振り返り」と「対話活動」の工夫に焦点を当てた授業実践について紹介します。
8	カリキュラム・マネジメント	学校教育目標の意識化を図り、授業、学校行事、児童会活動及び学級経営等の教育課程に基づいた取組に反映させ、PDCAサイクルの確立を目指した具体的な実践を中心に紹介します。